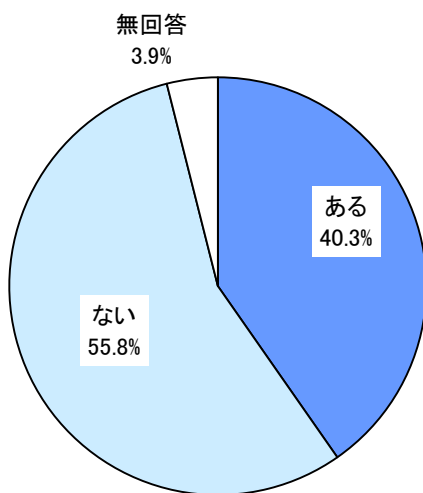


2 自分自身に関することについて

(1) 他人から傷つけられた経験

問4 あなたは日常生活の中で、他人から傷つけられたと感じたことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

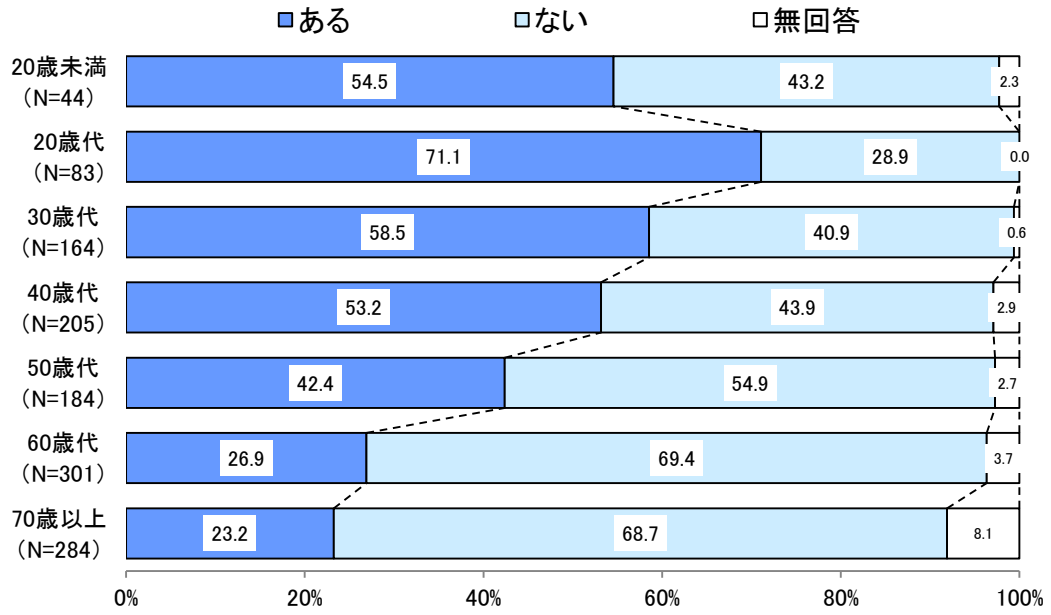
【図表 2-1 他人から傷つけられた経験】



(N=1,293)

他人から傷つけられた経験については、「ある」が40.3%、「ない」が55.8%となっている。(図表 2-1)

【図表 2-1-1 年齢別 他人から傷つけられた経験】

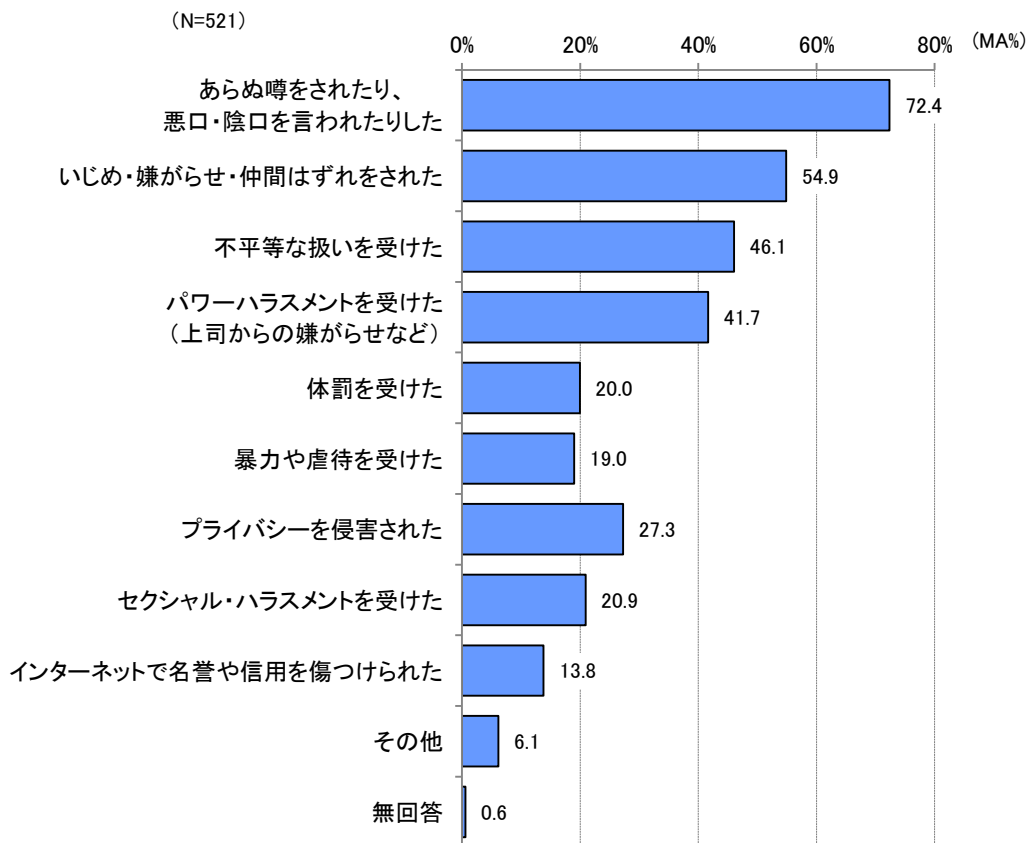


他人から傷つけられた経験を年齢別で見ると、「ある」は20歳代が71.1%で最も高く、それ以上の年齢では年齢が上がるにつれて割合が低くなり、70歳以上では23.2%となっている。20歳未満は「ある」が54.5%となっている。(図表 2-1-1)

(2) 他人から傷つけられた内容

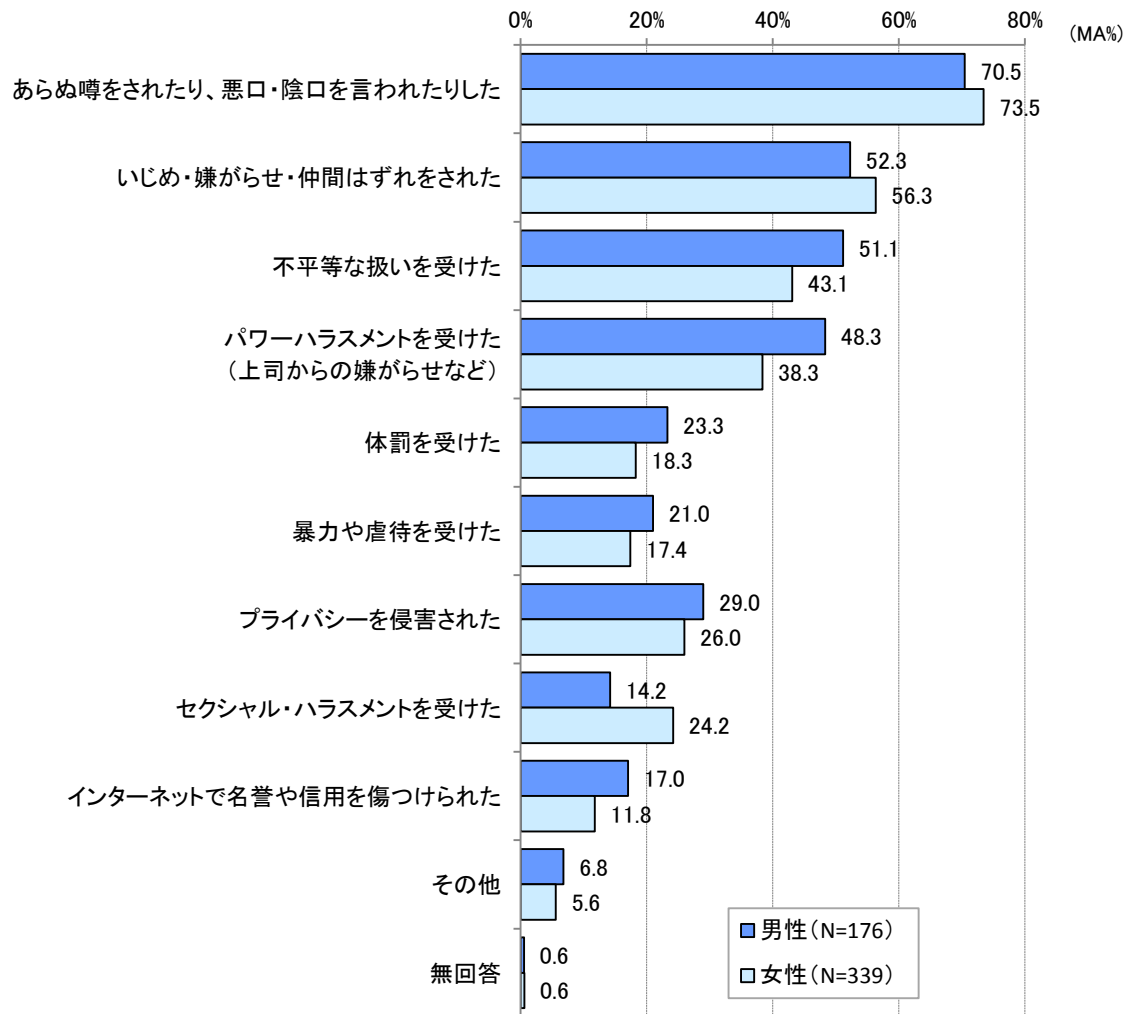
問5 問4で、「1. ある」と答えた方にお聞きします。
それはどのような内容で、誰（どこ）から傷つけられたと感じましたか。
（それぞれあてはまる番号すべてに○）

【図表 2-2 他人から傷つけられた内容】



他人から傷つけられた内容については、「あらぬ噂をされたり、悪口・陰口を言われたりした」が72.4%で最も高く、次いで「いじめ・嫌がらせ・仲間はずれをされた」が54.9%、「不平等な扱いを受けた」が46.1%となっている。（図表 2-2）

【図表 2-2-1 性別 他人から傷つけられた内容】



他人から傷つけられた内容を性別で見ると、性別で比較的差が大きかった内容は、「不平等な扱いを受けた」、「パワーハラスメントを受けた（上司からの嫌がらせなど）」、「セクシャル・ハラスメントを受けた」で、「不平等な扱いを受けた」は男性が女性と比べて 8 ポイント、「パワーハラスメントを受けた（上司からの嫌がらせなど）」は男性が女性と比べて 10 ポイント、「セクシャル・ハラスメントを受けた」は女性が男性と比べて 10 ポイント、それぞれ高くなっている。(図表 2-2-1)

【図表 2-2-2 年齢別 他人から傷つけられた内容】

上段(人) 下段(%)		問5											
		問4で、「1.ある」と答えた方にお聞きます											
		他人から傷つけられた内容											
		【複数回答】											
回答者数		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ		
		り悪あ し口ぬ た・噂 ・陰口 を言わ れた	間は じめ れ・嫌 がらせ ・仲	不平 等な 扱い を受け た	が受 けら れた （上 司か らメ ント の嫌	体罰 を受け た	暴力 や虐 待を 受け た	れた ブラ イバ シー を侵 害さ	ント を受 けた セク シヤ ル・ ハラ スメ	やイン ター ネッ トで 名譽 を傷 つけ られ た	その 他	無 回 答	
年齢別	20歳未満	24 100.0	20 83.3	12 50.0	8 33.3	5 20.8	4 16.7	5 20.8	6 25.0	6 25.0	6 25.0	3 12.5	0 0.0
	20歳代	59 100.0	46 78.0	41 69.5	29 49.2	29 49.2	7 11.9	11 18.6	16 27.1	13 22.0	12 20.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代	96 100.0	70 72.9	52 54.2	41 42.7	45 46.9	21 21.9	13 13.5	25 26.0	20 20.8	14 14.6	3 3.1	0 0.0
	40歳代	109 100.0	68 62.4	56 51.4	43 39.4	44 40.4	22 20.2	23 21.1	24 22.0	22 20.2	12 11.0	10 9.2	0 0.0
	50歳代	78 100.0	52 66.7	41 52.6	38 48.7	29 37.2	11 14.1	9 11.5	17 21.8	13 16.7	3 3.8	2 2.6	1 1.3
	60歳代	81 100.0	67 82.7	42 51.9	37 45.7	36 44.4	16 19.8	15 18.5	24 29.6	13 16.0	8 9.9	6 7.4	1 1.2
	70歳以上	66 100.0	50 75.8	39 59.1	38 57.6	26 39.4	22 33.3	20 30.3	26 39.4	20 30.3	16 24.2	8 12.1	1 1.5

他人から傷つけられた内容を年齢別でみると、いずれの年齢でも「あらぬ噂をされたり、悪口・陰口を言われたりした」が最も高く、次いで「いじめ・嫌がらせ・仲間はずれをされた」となっている。(図表 2-2-2)

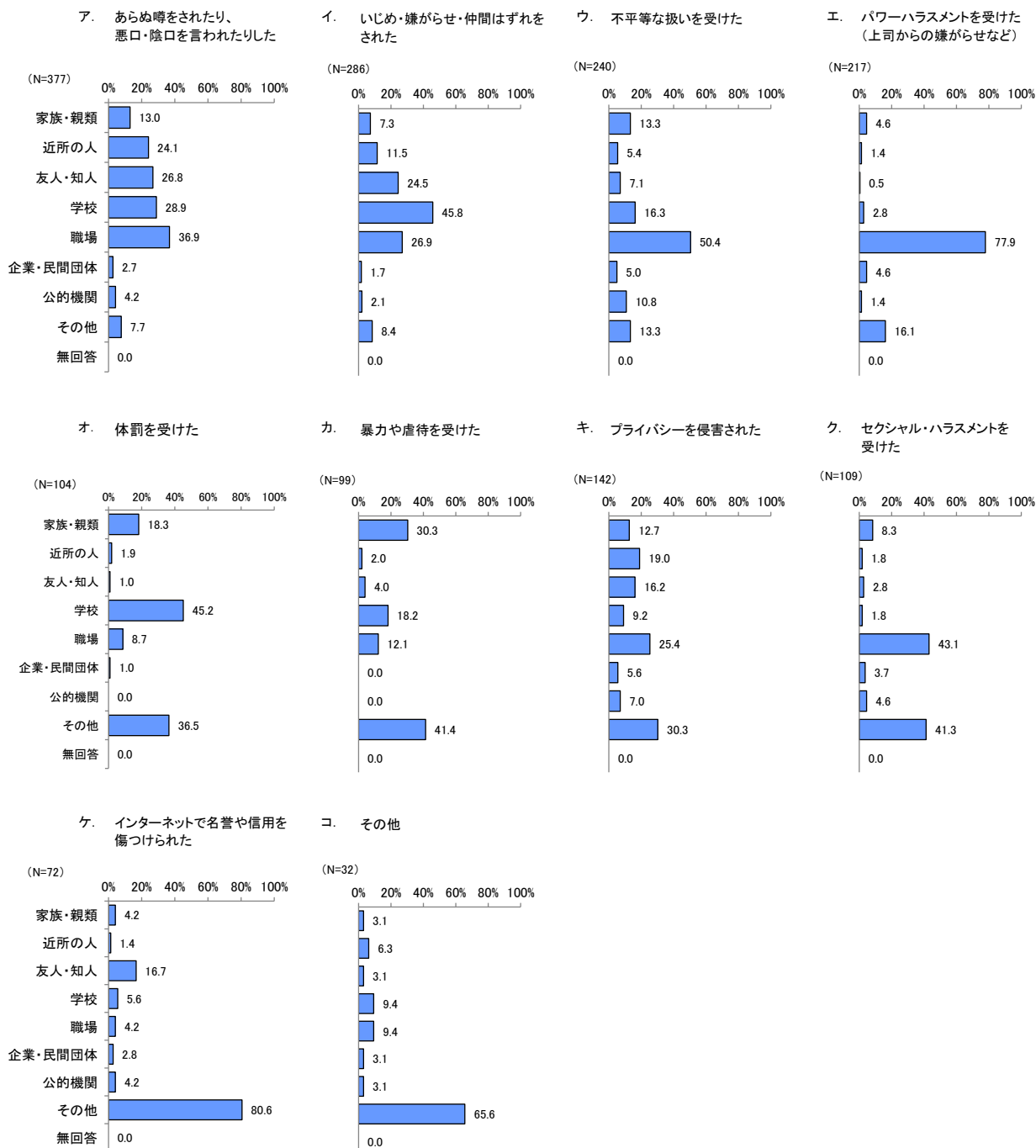
(3) 傷つけられた相手

問5 問4で、「1. ある」と答えた方にお聞きします。

それはどのような内容で、誰（どこ）から傷つけられたと感じましたか。

（それぞれあてはまる番号すべてに○）

【図表 2-3 傷つけられた相手】

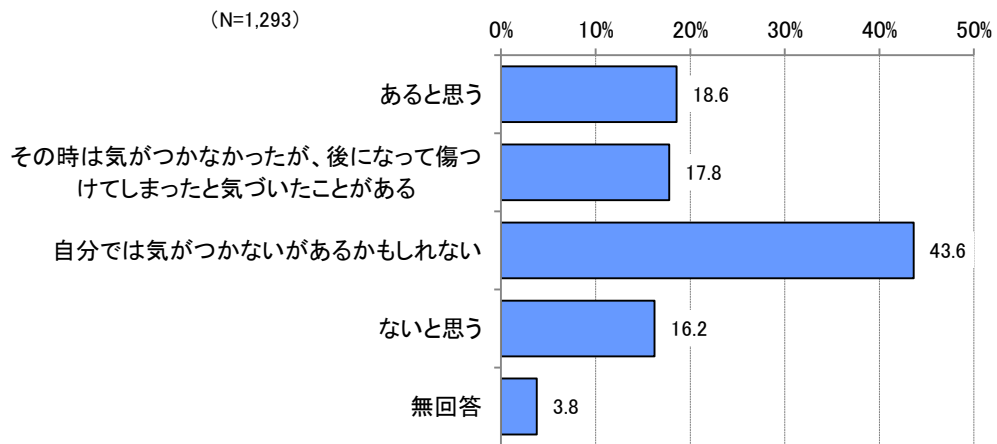


傷つけられた相手については、おおむね「職場」と「学校」から受けている場合が多くなっている。「職場」が最も高い項目は「ウ. 不平等な扱いを受けた」(50.4%)、「エ. パワーハラスメントを受けた (上司からの嫌がらせなど)」(77.9%)、「ク. セクシャル・ハラスメントを受けた」(43.1%)で、「学校」が最も高い項目は「イ. いじめ・嫌がらせ・仲間はずれをされた」(45.8%)、「オ. 体罰を受けた」(45.2%)となっている。(図表 2-3)

(4) 他人を傷つけた経験

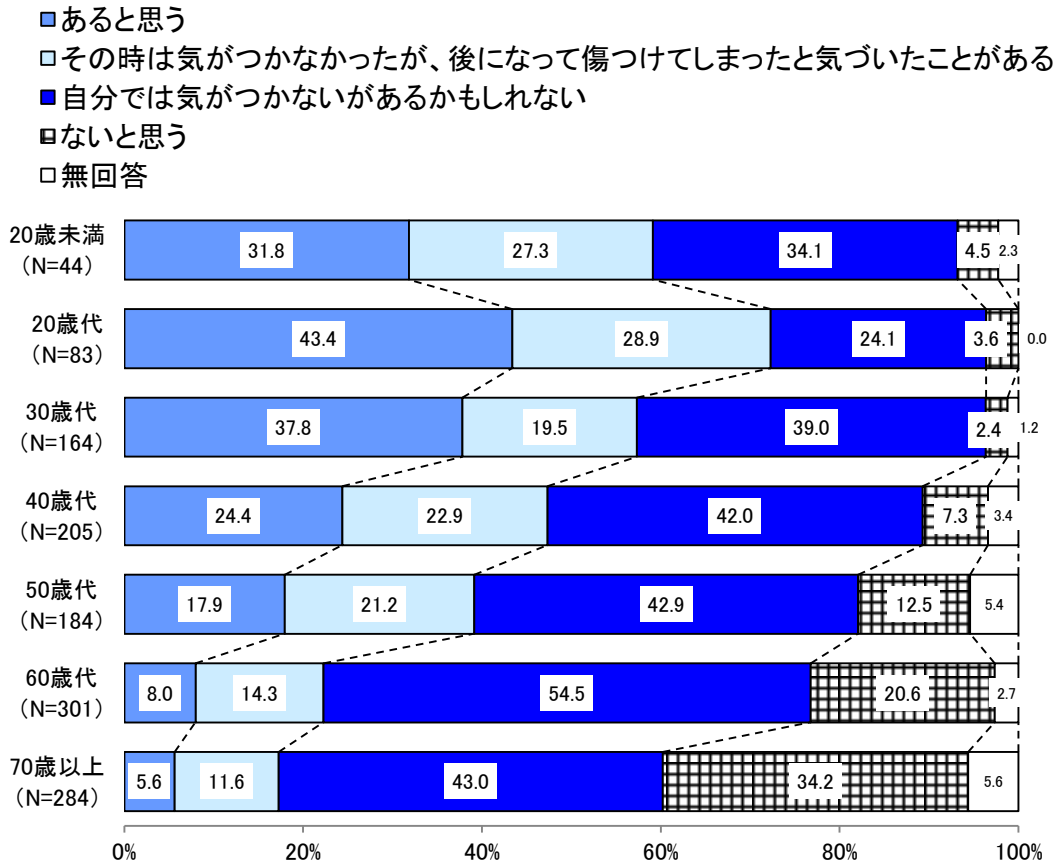
問6 あなたは日常生活の中で、他人を傷つけてしまったことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

【図表 2-4 他人を傷つけた経験】



他人を傷つけた経験については、「自分では気がつかないがあるかもしれない」が 43.6%で最も高く、次いで「あると思う」が 18.6%、「その時は気がつかなかったが、後になって傷つけてしまったと気づいたことがある」が 17.8%、「ないと思う」が 16.2%となっている。(図表 2-4)

【図表 2-4-1 年齢別 他人を傷つけた経験】



他人を傷つけた経験を年齢別でみると、「あると思う」は20歳代が最も高く、それ以上の年齢では年齢が上がるにつれて低くなっている。「その時は気がつかなかったが、後になって傷つけてしまったと気づいたことがある」もおおむね同様の傾向となっている。

一方、「自分では気がつかないがあるかもしれない」は20歳代が最も低く、それ以上の年齢ではおおむね年齢が上がるにつれて高くなっている。「ないと思う」も同様の傾向となっている。

20歳未満は、30歳代と割合の構成が近くなっている。(図表 2-4-1)